

日本語 HP DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS

インストール・ガイド

2012年6月

本書では、日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェアのインストール方法について説明します。

ソフトウェア・バージョン: 日本語 HP DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS, V2.7

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Integrity V8.3, V8.3-1H1, V8.4
日本語 OpenVMS Alpha V7.3-2, V8.3, V8.4

日本ヒューレット・パッカード株式会社

2012年6月

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており，本書中の解説および図，表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本ヒューレット・パカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

© 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は米国 Microsoft 社の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は，各社の商標または登録商標です。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき.....	v
1 ソフトウェアのインストールの準備	
1.1 オペレーティング・システムのバージョン.....	1-1
1.2 ディスク容量.....	1-1
1.3 関連するソフトウェア.....	1-1
1.3.1 USB パッチキット.....	1-2
1.3.2 PCSI ユーティリティ.....	1-2
1.3.3 TCP/IP ネットワーク.....	1-3
1.3.4 C ランタイム・ライブラリ.....	1-4
1.3.5 PrintServer ソフトウェア.....	1-4
1.3.6 AppleTalk ネットワーク.....	1-4
1.3.7 DDIF 印刷.....	1-5
1.3.8 DEC Image Print-PLUS (ICPS).....	1-5
1.4 互換性のないコンポーネント.....	1-5
1.5 プリンタ側に必要な設定作業.....	1-5
2 ソフトウェアのインストール	
2.1 概要.....	2-1
2.2 PCSI の表示プロンプト.....	2-2
2.3 ソフトウェアのインストール.....	2-2
A インストールの実行例	
B DCPS によってインストールされるファイル	
索引	
例	
A-1 OpenVMS Integrity システムでのインストール実行例.....	A-1

表

1	日本語 DECprint Supervisor のドキュメント	v
1-1	必要なディスク容量	1-1
1-2	USB パッチキット	1-2
1-3	PCSI パッチ・キット	1-3
2-1	スプール・ディレクトリの例	2-8
B-1	DCPS によってインストールされるファイル.....	B-1

対象読者

本書は、日本語 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS プリンティング・ソフトウェアをインストールするシステム管理者を対象にしています。このプリンティング・ソフトウェアをインストールするには、前提知識として次の内容について知っている必要があります。

- OpenVMS DCL コマンド言語とシステム管理プロシージャ
- 『DCPS システム管理者ガイド』に説明されている操作方法とコマンド
- OpenVMS ソフトウェアをインストールするための PCSI ユーティリティ
- ご使用の環境におけるネットワーク・アドレスおよびプロトコル

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章では、インストールの前に必要となる準備作業について説明しています。
- 第 2 章では、PCSI によるインストールの手順について説明しています。
- 付録 A では、インストールの実行例を示しています。
- 付録 B では、DCPS によってインストールされるファイルの一覧を示します。

関連資料

DCPS については次のドキュメントを参照してください。

表 1 日本語 DECprint Supervisor のドキュメント

『リリース・ノート』	DCPS の使用上の注意事項について説明しています。
『インストレーション・ガイド』	DCPS のインストール方法について説明しています。
『システム管理者ガイド』	システム管理者、データセンタ・オペレータ、アプリケーション・プログラマが、DCPS プリント・キューをどのように作成/管理し、印刷に関する問題を解決するかを説明します。
『ユーザーズ・ガイド』	DCPS を使用して PostScript プリンタに印刷する方法について説明しています。
『ソフトウェア仕様書 (SPD 48.27.xx)』	DCPS がサポートするプリンタの一覧、DCPS V2.7 の機能と動作環境について説明しています。

HP OpenVMS の製品およびサービス情報については、下記の URL の Web サイトを参照してください。

<http://www.hp.com/jp/openvms/> (日本語)

<http://www.hp.com/go/openvms/> (英語)

本書の表記法

このドキュメントでは以下の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none">• 文中のオプションの引数が省略されている。• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン (たとえば <i>/PRODUCER=name</i>)、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i>) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。

表記法	意味
Monospace type	<p>モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。</p> <p>C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。</p>
-	<p>コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。</p>
数字	<p>特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。</p>

ソフトウェアのインストールの準備

1.1 オペレーティング・システムのバージョン

本バージョンの DCPS をサポートする OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンは以下のとおりです。

- OpenVMS Integrity V8.3, V8.3-1H1 あるいは V8.4
- OpenVMS Alpha V7.3-2*, V8.3 あるいは V8.4

サポートする OpenVMS バージョンの最新のリストは以下の URL を参照してください。

http://h71000.www7.hp.com/openvms/openvms_supportchart.html

1.2 ディスク容量

DCPS をインストールするのに必要なディスク容量は、Integrity あるいは Alpha のどちらのシステムを使用しているかによって異なります。表 1-1 に必要なディスク容量を示します。

表 1-1 必要なディスク容量

	Integrity システム	Alpha システム
ディスク容量	17,000 ブロック	13,000 ブロック

これらのディスク容量は概算であり、実際の値はシステム環境、ディスク・クラスタ・サイズ、構成、ソフトウェア・オプションによって異なります。

1.3 関連するソフトウェア

日本語 DECprint Supervisor は他のソフトウェアとともに動作することにより、完全なプリンティング環境を構築します。日本語 DECprint Supervisor をインストールする前に、他のソフトウェアとプリンティング・ソフトウェアとの互換性があることを確認してください。

* Standard Support の提供が終了しているため Prior Version Support あるいは Extended Engineering Support の契約が必要です。

以降の各項では、必要なソフトウェアについて詳細を説明します。特定のバージョンについての必要条件については、『日本語 DECprint Supervisor for OpenVMS ソフトウェア仕様書 (SPD)』を参照してください。

1.3.1 USB パッチキット

DCPS V2.7 をインストールする前に、ご使用の OpenVMS のバージョンによって以下の USB パッチキットをインストールする必要があります。

注意

日本語プリンタの USB 接続はサポートされていませんが、DCPS のインストール時に、USB パッチがインストール済かどうかを確認されるため、あらかじめ USB パッチをインストールしておく必要があります。

表 1-2 USB パッチキット

OpenVMS バージョン	パッチキット
OpenVMS Alpha V7.3-2	必要なし
OpenVMS Integrity V8.3	VMS83I_USB-V0200
OpenVMS Integrity V8.3-1H1	VMS831H1I_USB-V0100
OpenVMS Alpha V8.3	VMS83A_USB-V0100
OpenVMS Integrity/Alpha V8.4	必要なし

これらのパッチキット、およびそれらのアップデート・バージョンは、以下の場所から入手できます。

- HP カスタマーサポートセンター
- 以下の URL の HP Support Center のサイト

<http://www.hp.com/go/hpsc/>

OpenVMS V8.4 以降はこれらのパッチキットの適用は必要ありません。

1.3.2 PCSI ユーティリティ

DCPS は、PRODUCT コマンドを通じて PCSI ユーティリティでインストールされます。PCSI ユーティリティについての詳細と PRODUCT コマンドの使用方法については、『HP OpenVMS システム管理者マニュアル』および『HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』、あるいはオンライン・ヘルプを参照してください。

古いバージョンの OpenVMS を使用している場合、DCPS をインストールする前に PCSI パッチ・キットのインストールが必要になる場合があります。表 1-3 を参照して、PCSI パッチのインストールが必要かどうかを判断してください。パッチ・キットをインストールすることにより、ご使用のシステムの PCSI がアップグレードされます。

注意

日本語 DCPS V2.7 では、PCSI パッチ・キットの適用が必要になるような古いバージョンの OpenVMS はサポートしていないため、特に対処は必要ありません。

表 1-3 PCSI パッチ・キット

OpenVMS バージョン	PCSI パッチ・キット
Integrity V8.2 以降	必要なし
Alpha V6.2 ~ V7.1-2	DEC-AXPVMS-VMS62TO71U2_PCSI-V0200-4
Alpha V7.2 以降	必要なし

これらのパッチ・キットは次の場所から入手できます。

- HP カスタマー・サポート・センター
- 以下の URL の HP Support Center のサイト

<http://www.hp.com/go/hpsc/>

1.3.3 TCP/IP ネットワーク

CPAP (Common Printer Access Protocol) を使用した PrintServer プリンタへの TCP/IP 接続、あるいは raw TCP/IP ソケット・プロトコルまたは LPD プロトコルを使用したその他のプリンタへの接続では、次のいずれかを必要とします。

- TCP/IP Services for OpenVMS
- Process Software MultiNet for OpenVMS
- Process Software TCPware for OpenVMS

注意

Process Software MultiNet for OpenVMS および Process Software TCPware for OpenVMS は、米国 Process Software 社の製品です。

1.3.4 C ランタイム・ライブラリ

DCPS は、システムに C ランタイム・ライブラリがインストールされていることを前提に動作します。このライブラリは、OpenVMS V6.1 以降の OpenVMS オペレーティング・システムの DEC C/C++ Run-Time Components キットに含まれています。ご使用のバージョンによって、次のように対応が異なります。

注意

日本語 DCPS V2.7 では古いバージョンの OpenVMS はサポートしていないため、特に対応は必要ありません。

- OpenVMS V6.1 以降のシステムで実行する場合は、DEC C ランタイム・ライブラリをインストールする必要はありません。
- OpenVMS VAX V5.5-2 システムで実行する場合は、DCPS をインストールする前に DEC C/C++ Run-Time Components キットをインストールする必要があります。

DEC C ランタイム・ライブラリがシステムにインストールされているかどうかを判断するには、SYS\$STARTUP:CRT\$STARTUP.COM ファイルが存在するかどうかを確認してください。このファイルが存在する場合、DEC C/C++ Run-Time Components キットはすでにインストールされています。存在しない場合には、DCPS をインストールする前に DEC C/C++ Run-Time Components キットをインストールする必要があります。

DEC C/C++ Run-Time Components キットは、OpenVMS VAX Software Product Library CD-ROM の Compaq C のディレクトリに含まれています。セーブセット名は AACRT060.A です。このキットのインストール情報については、まず DEC C/C++ Run-Time Components ドキュメントの『Read Before Installing or Using DEC C/C++ Run-Time Components Version 6.0 for OpenVMS VAX Systems』を参照してください。

1.3.5 PrintServer ソフトウェア

DIGITAL PrintServer プリンタに出力するには、PrintServer ソフトウェアがインストールされているホスト・システムがプリンティング環境に存在しなければなりません。

1.3.6 AppleTalk ネットワーク

DCPS が使用するネットワーク・プロトコルの 1 つとして、OpenVMS Alpha のレイヤード製品である PATHWORKS for OpenVMS (Macintosh) で提供されていた AppleTalk があります。この製品はすでにリタイヤしておりサポートは提供されませんが、DCPS は引き続き AppleTalk キューでも動作していました。

ただし、AppleTalk プロトコルを起動できなくなる変更が OpenVMS V8.2 で行われています。このため、OpenVMS V8.2 以降、DCPS は AppleTalk キューと動作しません。

1.3.7 DDIF 印刷

DDIF エンコード 2 値イメージを印刷するには、システムに DECwindows がインストールされていることが必要となります。

1.3.8 DEC Image Print-PLUS (ICPS)

DCPS V1.1 以降のバージョンは、ICPS V1.x ソフトウェアと共存することができません。DCPS をインストールすると、SYSS\$LIBRARY:TRN\$DDIF_IMAGE.EXE イメージを置き換えてしまいますが、この新しいイメージは ICPS ソフトウェアとの互換性がありません。

1.4 互換性のないコンポーネント

すべての DCPS の実行コンポーネントは、相互に互換性を持つ組み合わせであることを保証しようとします。互換性がない場合、キューの起動時に DCPS がエラーを通知します。互換性を持たないソフトウェアの古いバージョンのコンポーネントが SYSS\$SPECIFIC 領域に存在し、新しいコンポーネントが SYSS\$COMMON 領域にインストールされた場合に、このエラーが発生します。発生するエラーは、どのコンポーネントのどのバージョンを実行するかに応じて異なりますが、次のようなメッセージが表示されるのが共通しています。

```
%%%%%%%%%% OPCOM 13-FEB-1995 21:38:08.66 %%%%%%%%%%%  
Message from user QUEUE_MANAGE on DAHLIA  
%QMAN-E-SYMDEL, unexpected symbiont process termination
```

DCPS インストレーション・プロシージャは SYSS\$SPECIFIC 領域で DCPS ファイルをチェックし、存在する場合はそれを知らせます。

1.5 プリンタ側で必要な設定作業

DCPS を使用するためにプリンタ側で必要となる設定作業があります。『DECprint Supervisor for OpenVMS システム管理者ガイド』の第 10 章を参照して、ご使用になる各プリンタで必要な設定作業を行ってください。

ソフトウェアのインストール

この章では、POLYCENTER Software Installation Utility (PCSI) による日本語 DECprint Supervisor ソフトウェアのインストール方法について説明します。PCSI ユーティリティについての詳細と PRODUCT コマンドの使用方法については、『HP OpenVMS システム管理者マニュアル』および『HP OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』、あるいはオンライン・ヘルプを参照してください。

2.1 概要

日本語 DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS ソフトウェアのインストールは、以下の手順で行ってください。

1. リリース・ノートのすべての注意事項に目を通します。次のコマンドを使用して、テキスト形式のリリース・ノートを PCSI キットから取り出すことができます。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE NOTES DCPS -  
_ $ [/SOURCE=device:[directory]] -  
_ $ [/DESTINATION=device:[directory]]
```

PostScript 形式のリリース・ノートは次のコマンドで取り出すことができます。

```
$ PRODUCT EXTRACT FILE DCPS /SELECT=DCPSJ027_RELEASE_NOTES.PS -  
_ $ [/SOURCE=device:[directory]] -  
_ $ [/DESTINATION=device:[directory]]
```

2. 次のような場合は、STOP /QUEUE /NEXTあるいはSTOP /QUEUE /RESETコマンドを使用して各 DCPS キューを停止させます。
 - 既存のアクティブな DCPS キューがあり、DCPS インストール・プロセスによってそれらのキューが自動停止されるのを避けたい場合。
 - DCPS の実行イメージが SYSSSPECIFIC システム領域にある場合*。
 - DCPS に影響を与える OpenVMS あるいはその他の製品のパッチを適用する必要がある場合。
3. SYSSSPECIFIC システム領域からすべての DCPS 実行ファイルを削除します*。

* インストール・プロセスは、それらのファイルが存在するかどうかチェックします。

4. DCPS のリリース・ノートあるいはその他の情報源の説明に従って、DCPS に影響を与える OpenVMS あるいはその他の製品のパッチが存在する場合はそれらを適用します。パッチ適用後にシステムのリブートが必要な場合、DCPS をインストールする前にリブートしておきます。
5. DCPS をインストールします。
6. 『DCPS システム管理者ガイド』で説明しているように、DCPS\$STARTUP.COM の作成あるいは更新を行います。たとえば、プロシージャが示す例に従って、このファイルにキュー定義を追加して、論理名 DCPS\$MAX_STREAMS の値を設定してください。
7. DCPS\$STARTUP.COM を実行して DCPS プリント・キューを開始します。

インストールが失敗していなければ、DCPS インストール・プロシージャは、停止した DCPS キューを再起動します。DCPS インストール・プロシージャがキューを自動的に再起動した後に、ユーザが DCPS 環境あるいは DCPS\$STARTUP.COM を変更している場合、それらの変更内容を有効にするためにはすべての DCPS キューを停止させた後、キューを再起動する必要があります。

2.2 PCSI の表示プロンプト

インストール中に、PCSI は質問のためのプロンプトを表示します。質問の最後には、大括弧 ([]) で囲まれたデフォルトの応答が表示されます。応答を入力し `[Return]` キーを押してください。

デフォルトの応答をそのまま適用する場合は、そのまま `[Return]` キーを押します。応答すべき内容がよくわからない場合は、疑問符 (?) を入力します。この場合 PCSI は応答に関する説明を表示し、プロンプトを再度表示します。

2.3 ソフトウェアのインストール

注意

この節では、DCPS ソフトウェアのインストール時に表示されるすべてのテキストを引用しているわけではありません。PCSI インストールの実行例については、付録 A を参照してください。

インストールの手順は以下のとおりです。

1. PCSI ユーティリティの起動

次のコマンドを入力してください。

```
$ PRODUCT INSTALL DCPS [/SOURCE=device:[directory]]
```


`device`および`directory`には、DCPSのPCSIキットの場所を指定します。

`/DESTINATION` 修飾子あるいは論理名 `PCSI$DESTINATION` による代替インストール先の指定は行わないでください。DCPSはシステム・ディスクのクラスタ共通領域にインストールする必要があるため、代替インストール先の指定に関係なく、システム・ディスクのクラスタ共通領域にインストールされます。

2. DCPSキットの選択

ソース・ディレクトリに複数のDCPS PCSIキットが存在する場合、選択のためのプロンプトが表示されます。次に例を示します。

```
1 - HP AXPVMS DCPS V2.6           Layered Product
2 - HP AXPVMS DCPS V2.7-J        Layered Product
3 - HP I64VMS DCPS V2.7-J        Layered Product
4 - HP VAXVMS DCPS V2.7          Layered Product
5 - All products listed above
6 - Exit
```

Choose one or more items from the menu separated by commas:

インストールしようとしているプラットフォーム用の正しいバージョンのDCPSキットを選択してください。

3. インストールする製品の確認

PCSIは次のようなメッセージを表示し、インストールする製品の確認を行います。

```
The following product has been selected:
HP AXPVMS DCPS V2.7-J           Layered Product
```

Do you want to continue? [YES]

正しいDCPSキットであれば、`[Return]`を押してください。

4. 代替インストール先の確認

すでにPCSIによりDCPSがインストールされているシステムで代替インストール先を指定した場合、次のようなメッセージが表示されます。

```
%PCSIUI-W-DESTQUAL, destination qualifier will be ignored for this product
```

```
* When reinstalling a product you cannot specify a destination.
* To change the product's destination, remove the product then
* install it to a new location. If you continue this operation,
* the product will be reinstalled in its current location.
```

Do you want to continue? [YES]

DCPSは常にシステム・ディスクの`SYSSCOMMON`にインストールを行います。処理を進める場合は`[Return]`を押してください。

5. インストールの開始

PCSI は次のようなメッセージを表示してインストールを開始します。

```
Configuration phase starting ...
```

```
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for  
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
```

```
HP AXPVMS DCPS V2.7-J: HP DECprint Supervisor for OpenVMS
```

```
Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```

6. ディスク容量のチェック

PCSI は、インストールに必要なディスク容量があるかどうかチェックします。ディスク容量が足りない場合、必要なディスク容量を示すメッセージを表示し、インストールを中止します。この場合、十分なディスク容量を用意した後、PCSI プロシージャを再度実行します。

十分なディスク容量がある場合は、インストール・プロシージャは処理を続行します。

7. キュー・マネージャの実行の確認

インストール・プロシージャは、システムでキュー・マネージャが実行されているかどうか確認します。

キュー・マネージャが実行されていない場合は、IVP (Installation Verification Procedure) が実行されず次のようなメッセージが画面に表示されます。

```
The queue manager is not running. The IVP will not be run.
```

IVP を実行するためには、キュー・マネージャを実行する必要があります。

8. ソフトウェアの前提条件の確認

DCPS のインストールが開始され、必要な ECO などのソフトウェアの前提条件の確認が行われます。

```
Examining system environment ...
```

前提条件となっているソフトウェアがシステムにインストールされていない場合は、たとえば次のようなメッセージが表示されます。

```
DCPS V2.7-J requires that a Foo Bar patch kit be installed on your system.
```

```
Please install ECO patch kit FOO_BAR Vn.n or later,  
and then re-run this installation.
```

この場合、インストールは中断されます。

9. 実行中の DCPS キューの確認

前提となっているソフトウェアの確認が完了したら、システムの DCPS キューを探します。実行中の DCPS キューが存在しない場合、次の 2 つの手順は省略して処理を続けます。

10. 停止するキューの一覧表示の選択

DCPS プリント・キューが実行中の場合、以下のいずれかのメッセージが表示されます。

- システムですべてのキューが実行中の場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
You should stop all running DCPS queues on this system (node-name).
```

```
Do you want to see a list of queues that will be stopped? [NO]
```

- インストールしようとしているシステムのシステムディスクに他のシステムで実行中のキューがある場合は、次のようなメッセージも表示されます。

```
You should stop all running DCPS queues affected by this installation. This includes queues on these systems:
```

```
node-name
.
.
.
node-name
```

インストレーション・プロシージャによって停止される DCPS キューの一覧を見たい場合は、YES を入力して `[Return]` キーを押します。一覧を表示しない場合は `[Return]` キーを押します。

11. 停止するキューの指定

DCPS インストレーション・プロシージャは、作業しているシステムにあるクラスタ共通のディレクトリに新しいバージョンのソフトウェアをインストールするので、そのシステムディスクを使用する各システムで実行しているすべての DCPS キューを停止させる必要があります。デフォルトではこの操作が選択されます。

使用している環境によって、インストレーション中にどのキューを停止させるか以下のようにいくつかの選択肢があります。

- システム上の n 個の DCPS キューを停止させる。
システムで実行中の DCPS キューがある場合、この選択肢がデフォルトです。
- インストールに影響を与える n 個の DCPS キューを停止させる。
インストール中のシステムとそのシステム・ディスクを利用する他のシステムの両方で実行中の DCPS キューがある場合、この選択肢がデフォルトです。
- インストールを続行する (システムで実行中のキューがない)。
インストールに影響を与える実行中の DCPS キューがない場合、この選択肢がデフォルトです。
- クラスタ内の n 個の DCPS キューを停止させる。
インストールに影響しないクラスタ内のキューを停止させる必要はありませんが、便宜上この選択肢も用意されています (これは DCPS V2.5 のインストレーション動作です)。

- どのキューも停止させない (この選択肢はお勧めしません)。

結果が予測できないため、この選択肢はお勧めしません。実行中のキューが停止されるまでは古い DCPS ソフトウェアが実行されますが、たとえばデバイス制御ライブラリなどはインストールによってアップデートされ、古いソフトウェアとは互換性が無くなる場合があります。この選択肢を選択する場合、インストールが完了したらできるだけ早くキューを停止させ再起動する必要があります。

選択肢は以下のように番号付きのリストで表示されます。

Choose from the following options:

- 1 - Stop the n DCPS queues on this system
- 2 - Stop the n DCPS queues in the cluster
- 3 - Do not stop any queues (not recommended)

Enter option: [1]

番号を選択して **[Return]** を押します。

停止するキューの一覧表示を選択している場合、次のように表示されます。

```

Queue                Status Node   Device
-----
queue-name           status node   "protocol/host:port"
.
.
.
queue-name           status node   "protocol/host:port"

```

12. インストールの続行

選択すると次のいずれかのメッセージが表示されます。

- キューを停止する場合

Do you want to stop the queues and continue the installation? [YES]

- キューを停止しない場合

Do you want to continue the installation? [YES]

[Return] を押して続行するか、NO とタイプして **[Return]** インストールを中止してください。続行する場合、キューが停止されて次のようなメッセージが表示されます。

If the installation fails, DCPS queues may need to be restarted manually.
Stopping DCPS queues ...

13. SYS\$SPECIFIC にあるファイルの確認

DCPS のファイルはすべて SYS\$COMMON にインストールする必要があります。デバッグやテストのために SYS\$SPECIFIC にファイルが置かれますが、このような領域に DCPS のファイルが置かれた環境で新たに DCPS をインストールすると、正しく動作しない場合があります。

SYSSSPECIFIC に DCPS イメージが存在する場合は、新たにインストールする DCPS イメージの代わりに SYSSSPECIFIC の古いイメージで DCPS が実行されてしまうことを示す次のようなメッセージが表示されます。

```
This system contains DCPS images in SYSSSPECIFIC:
```

```
disk:[SYSn.SYSEXE]DCPS$SMB.EXE;n
```

```
The existence of DCPS files in SYSSSPECIFIC is not supported.
```

```
If these files remain, they will be used instead of the DCPS product files you are installing now, and the IVP may test the wrong or mismatched DCPS components. These files can cause unpredictable DCPS behavior on your system.
```

```
Do you want to continue the installation? [NO]
```

インストールを中止する場合は `Return` キーを押します。Y とタイプして `Return` キーを押すと、インストールが続行されます。

14. Layup ファイルの場所の指定

次にインストール・プロシージャは、エグゼクティブ・モードのシステム・テーブルで `DCPSSLAYUP` 論理名の定義を探します。この論理名は DCPS レイアップ・ファイルの場所を示します。デフォルトの場所は `SYSSCOMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]` です。

インストール・プロシージャは、サイト固有のディレクトリが定義されていれば新しいバージョンのレイアップ・ファイルをそこに置くため、この場合新しい場所を確認するためのプロンプトは表示しません。レイアップ・ファイルを別のディレクトリに置きたい場合は、通常は非特権ユーザがそのように変更することが可能なので、インストールが完了した後で手でそれらをコピーするとともに `SYSSSTARTUP:DCPSSREQUIRED.COM` コマンド・プロシージャの最後にある `DCPSSLAYUP` の値を変更してください。

- 定義が存在し、それがデフォルトの場所であれば、メッセージは表示されません。
- 定義が存在し、それがサイト固有の場所であれば、次のようなメッセージが表示されます。

```
Layup files will be copied to DISK$SYS_ROUTE2:[DCPS_LAYUP].
```

- 定義が存在しない場合はデフォルトの場所が使用されます。

ディレクトリが存在しないなどの理由でファイルがサイト固有の `DCPSSLAYUP` ディレクトリにコピーできない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
There is a problem with your definition of DCPSSLAYUP.  
Layup files will not be copied to DISK$INVALID:[WOOPS].
```

15. スプール・ディレクトリの指定

DCPS V2.5 以上をインストールしてスタートアップ・プロシージャを実行してある場合、スプール・ディレクトリの位置はすでに指定されているためこの作業は省略できます。

DCPSSPOOL あるいは DCPS\$queue-name_SPOOL 論理名が定義されている場合、LPD ジョブの一時的なスプール・ファイルを保管するのに DCPS スプール・ディレクトリが使用されます (DCPS の LPD スプールについての詳細は DCPS システム管理者ガイドを参照してください)。

DCPS スプールを使用するすべてのシステムで利用できるシステム・ディスク以外のデバイス、あるいはデバイスとディレクトリを指定します。次のように、[DCPSSPOOL]を参照するディレクトリの場所を聞かれます。

```
DCPS, when so configured, will store temporary spool files in directory
[DCPSSPOOL]. By default, this directory is created in SYSS$COMMON.
It is recommended that you choose a non-system disk for this directory.
```

```
Enter location for DCPS spool directory: [SYSS$COMMON]
```

デバイス名だけ指定しても、デバイス名とディレクトリ名を指定してもかまいません。表 2-1 にいくつかの例を示します。

表 2-1 スプール・ディレクトリの例

プロンプトに対する応答	使用されるスプール・ファイル・ディレクトリ
[Return] (デフォルト)	SYSS\$COMMON:[DCPSSPOOL]
DISK\$USER	DISK\$USER:[DCPSSPOOL]
SYSS\$COMMON:[OTHER_FILES]	SYSS\$COMMON:[OTHER_FILES.DCPSSPOOL]
DISK\$USER:[DCPS]	DISK\$USER:[DCPS.DCPSSPOOL]

質問に答えた後、作成するディレクトリを確認します。

```
The DCPS spool directory will be created at
```

```
disk:[directory]
```

```
Is this correct? [YES]
```

その場所を使用する場合は[Return]を押します。別の場所を指定する場合は N をタイプして[Return]を押します。

16. ソフトウェアのインストール

PCSI は、DCPS のインストール中に次のようなメッセージを表示します。

```
* This product does not have any configuration options.
```

```
Execution phase starting ...
```

```
The following product will be installed to destination:
```

```
HP AXPVMS DCPS V2.7-J
```

```
DISK$SYS_SARAH: [VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%
```

17. 代替インストール先のチェック

PCSI を使用してシステムに DCPS がインストールされたことがないシステム、あるいはインストールされたことはあるがその後削除されたシステムで、代替インストール先を指定した場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

```
You have specified an alternate destination by using the /DESTINATION
qualifier or defining the logical name PCSI$DESTINATION.
```

```
Since DCPS must reside in cluster common directories, DCPS has been
installed using the default destination of SARAH$DKA0:[SYS0.SYSCOMMON.]
instead of the destination you specified, SARAH$DKB0:[OTHER.].
```

このメッセージは、インストールが 90% から 100% 終了した段階で表示されません。

18. キューの起動

DCPS ファイルのインストールが完了したら、インストールの最初に停止したアクティブ DCPS キューが起動されます。停止された DCPS キューがある場合、次のようなメッセージが表示されます。

```
Starting DCPS queues ...
```

この処理は、インストールが 90% から 100% 終了した段階で行われます。

19. 正常インストールの確認

ソフトウェアが正しくインストールされたことを IVP が確認します。システムのキュー・マネージャが実行中であれば、IVP が自動的に実行され、インストール・プロシージャは次の処理を行います。

1. 一時的なプリント・キューを作成します。
2. [SYSTEST.DCPS] のテスト・ファイルを一時的なプリント・キュー DCPS\$IVP_TEST にキューイングします。
3. 以下のようなメッセージを表示します。

```
%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for HP AXPVMS DCPS V2.7-J ...
```

```
Job DCPS$IVP_POST (queue DCPS$IVP_TEST, entry n started on DCPS$IVP_TEST
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_POST (queue DCPS$IVP_TEST, entry n)
  started on DCPS$IVP_TEST
```

```
·
·
·
```

```
Job DCPS$IVP_LIST (queue DCPS$IVP_TEST, entry 49) completed
```

注意

IVP は、実際の紙出力は行いません。

IVP が完了したら、テストに使用した一時的なキューは自動的に削除されます。
IVP テスト・ファイルを後で実際のプリンタに出力することもできます (『DCPS
システム管理者ガイド』を参照)。

次のように入力することにより、インストーレーション後に IVP を手動で起動することもできます。

```
$ @SYS$TEST:DCPS$IVP
```

IVP が完了したら、PCSI は情報メッセージを発行します。

```
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully
```

20. キューの作成と環境のカスタマイズ

プリント・キューの作成方法やプリント環境のカスタマイズなどの方法については『DCPS システム管理者ガイド』を参照してください。

A

インストールの実行例

例 A-1 では、日本語 DECprint Supervisor ソフトウェアを OpenVMS Integrity システムへインストールする場合の実行例を示します。

例 A-1 OpenVMS Integrity システムでのインストレーション実行例

```
$ PRODUCT INSTALL DCPS
Performing product kit validation of signed kits ...
%PCSI-I-VALPASSED, validation of DKB200:[KITS]HP-I64VMS-DCPS-V0207-J-1.PCSI$COMPRESSED;1 succeeded
The following product has been selected:
    HP I64VMS DCPS V2.7-J                Layered Product
Do you want to continue? [YES]
Configuration phase starting ...
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
Configuring HP I64VMS DCPS V2.7-J: HP DECprint Supervisor/Japanese for OpenVMS
    (c) Copyright 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
Examining system environment ...

    DCPS, when so configured, will store temporary spool files in directory
    [DCPS$SPOOL]. By default, this directory is created in SYS$COMMON.
    It is recommended that you choose a non-system disk for this directory.
Enter location for DCPS spool directory: [SYS$COMMON]
    The following DCPS spool directory will be created:
        SYS$COMMON:[DCPS$SPOOL]
Is this correct? [YES]
%CREATE-I-EXISTS, SYS$COMMON:[DCPS$SPOOL] already exists
* This product does not have any configuration options.
Execution phase starting ...
The following product will be installed to destination:
    HP I64VMS DCPS V2.7-J                DISK$V84SYS:[VMS$COMMON.]
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...60%...70%...80%...90%...100%
The following product has been installed:
    HP I64VMS DCPS V2.7-J                Layered Product
```

(次ページに続く)

例 A-1 (続き) OpenVMS Integrity システムでのインストレーション実行例

```
%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for HP I64VMS DCPS V2.7-J ...
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_POST (queue DCPS$IVP_TEST, entry 1) started on DC
PS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_POST (queue DCPS$IVP_TEST, entry 1) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_ANSI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 2) started on DC
PS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_ANSI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 2) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_REGIS (queue DCPS$IVP_TEST, entry 3) started on D
CPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_REGIS (queue DCPS$IVP_TEST, entry 3) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_TEK4014 (queue DCPS$IVP_TEST, entry 4) started on
DCPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_TEK4014 (queue DCPS$IVP_TEST, entry 4) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_PCL (queue DCPS$IVP_TEST, entry 5) started on DCP
S$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_PCL (queue DCPS$IVP_TEST, entry 5) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_PROPRINTER (queue DCPS$IVP_TEST, entry 6) started
on DCPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_PROPRINTER (queue DCPS$IVP_TEST, entry 6) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_LIST (queue DCPS$IVP_TEST, entry 7) started on DC
PS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_LIST (queue DCPS$IVP_TEST, entry 7) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_KANJI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 8) started on D
CPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_KANJI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 8) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_KANJI78 (queue DCPS$IVP_TEST, entry 9) started on
DCPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_KANJI78 (queue DCPS$IVP_TEST, entry 9) completed
%DCPS-I-JOBSTART, Job DCPS$IVP_LA_KANJI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 10) started
on DCPS$IVP_TEST

Job DCPS$IVP_LA_KANJI (queue DCPS$IVP_TEST, entry 10) completed
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully

HP I64VMS DCPS V2.7-J: HP DECprint Supervisor for OpenVMS

    DCPS Release Notes (text and PostScript) have been provided in SYS$HELP
$
```

B

DCPS によってインストールされるファイル

表 B-1 に示すのは、DCPS によってシステムにインストールされるファイルの一覧です。“アーキテクチャ”のカラムに特に記載のないファイルは、Alpha および Integrity のどちらのシステムにもインストールされます。また、“日本語版”の記載があるファイルは日本語 DCPS で追加されたファイルです。

表 B-1 DCPS によってインストールされるファイル

ディレクトリ	ファイル	備考
DCPSS\$LAYUP:	COLOR-PRINTER-FULL-PAGE.LUP COLORWRITER-2000-FULL-PAGE.LUP FULL-A4-LANDSCAPE.LUP LPSS\$DOUBLEHOLES.LUP LPSS\$HOLES.LUP LPSS\$NUP.LUP LPSS\$SINGLEHOLES.LUP PROPRINTER-FULL-PAGE.LUP	
[SYSS\$STARTUP]	CPS_TO_DCPS_STARTUP.COM DCPSS\$EXECUTION_QUEUE.COM DCPSS\$GENERIC_QUEUE.COM DCPSS\$GET_VERSION.COM DCPSS\$REQUIRED.COM DCPSS\$STARTUP.TEMPLATE	
[SYSEXEXE]	DCPSS\$SMB.EXE	
[SYSHLP.EXAMPLES.DCPS]	CONFIDENTIAL.PS DCPSS\$COMMON-PORT-SETTINGS.COM DCPSS\$CONFIG-PRINTER-PORT.COM DCPSS\$DS100-PORT-SETTINGS.COM DCPSS\$DS200-PORT-SETTINGS.COM DCPSS\$DS500-PORT-SETTINGS.COM DCPSS\$GET-DS100-PORT-GROUPS.COM DCPSS\$SAVE-DS500-PORT.COM DCPSS\$SET-DS-GROUPS.COM DCPSS\$SET-DS100-GROUPS.COM	

(次ページに続く)

表 B-1 (続き) DCPS によってインストールされるファイル

ディレクトリ	ファイル	備考
	DCW1000_CONFIG.PS	
	DCW1000_DEVPARAM.PS	
	DCW1000_NOSTRTPG.PS	
	DCW1000_PRNTCNFG.PS	
	DCW1000_PSCRIPT.PS	
	DCW1000_STARTPG.PS	
	DL3500_SEND_FAX_PS.PS	
	DL3500_SEND_FAX_PS_SENDPS.PS	
	DL3500_SEND_FAX_TEXT.PS	
	DL3500_SEND_FAX_TEXT_SENDPS.PS	
	FAX_3500_PRINTME.PS	
	FONT_DOWNLOADER.COM	
	IGNORE-A-SIZE.PS	
	INSTALL-PS-SUPPLEMENT.COM	
	LPS\$SET_PRINTER_NAME.PS	
	LPS\$SET_TIMEOUT.PS	
	LPS\$STATUSDICT.PS	
	LPS_ANSI_PROLOGUE.PS	
	NETPRINT.TXT	
	NETPRINT.ZIP	
	PS_SUPPLEMENT.PS	
	UNSOLICITED-PJL-FIX.COM	
	UPDATE-ANSI-PROLOGUE.COM	
[SYSHLP]	DCPS\$HELP.HLP	
	DCPSJ027.RELEASE_NOTES	
	DCPSJ027_RELEASE_NOTES.PS	
	DCPS\$USERSTART.PS	日本語版のみ
	DCPS-USER-CARD.PS	日本語版のみ
	LPS\$KANJI_TABLE.PS	日本語版のみ
	LPS\$PRINTERMARGIN.LUP	日本語版のみ
	LPS_DECKANJI_PROLOGUE.PS	日本語版のみ
	TRN\$CMGR_CONVERT.FDL	日本語版のみ
	TRN\$KANJI_CONVERT.FDL	日本語版のみ
[SYSLIB]	DCPS\$BE_APPLETALK.EXE	Alpha のみ
	DCPS\$BE_CPAP.EXE	
	DCPS\$BE_SERIAL.EXE	
	DCPS\$DEVCTL.TLB	

(次ページに続く)

表 B-1 (続き) DCPS によってインストールされるファイル

ディレクトリ	ファイル	備考
	DCPSS\$FILE_EXTENSION_DATA_	
	TYPE.DAT_DEFAULT	
	DCPSS\$SMBshr.EXE	
	DCPSS\$TRNPRC.EXE	
	TRN\$ANSI_PS.EXE	
	TRN\$DDIF_IMAGE.EXE	
	TRN\$DDIF_PS.EXE	
	TRN\$LIST_PS.EXE	
	TRN\$PCL_PS.EXE	
	TRN\$PROPRINTER_PS.EXE	
	TRN\$REGIS_PS.EXE	
	TRN\$TEK4014_PS.EXE	
	TRN\$DECKKANJI_PS.EXE	日本語版のみ
[SYSMMSG]	DCPSS\$MSG.EXE	
[SYSTEMEST.DCPS]	DCPSS\$IVP_ANSI.DAT	
	DCPSS\$IVP_LIST.DAT	
	DCPSS\$IVP_PCL.DAT	
	DCPSS\$IVP_POST.DAT	
	DCPSS\$IVP_PROPRINTER.DAT	
	DCPSS\$IVP_REGIS.DAT	
	DCPSS\$IVP_TEK4014.DAT	
[SYSTEMEST]	DCPSS\$IVP.COM	
	DCPSS\$IVP_KANJI.DAT	日本語版のみ
	DCPSS\$IVP_KANJI78.DAT	日本語版のみ
	DCPSS\$IVP_LA_KANJI.DAT	日本語版のみ

A

AppleTalk ネットワーク・プリンティング 1-4

C

CPAP 1-3

C ランタイム・ライブラリ 1-4

D

DCPSSPOOL_DIRECTORY 論理名 2-7

DCPSSLAYUP 論理名 2-7

DDIF 印刷 1-5

I

Installation Verification Procedure

IVP を参照

IVP

手動起動の方法 2-10

L

LPD 1-3

O

OpenVMS VAX V5.5-2 システム 1-3, 1-4

P

PCSI 1-2

インストール先 2-3, 2-9

インストール・プロンプト 2-2

起動 2-2

キットの選択 2-3

実行中の DCPS キュー 2-4

ソフトウェアの前提条件の確認 2-4

表示プロンプト 2-2

POLYCENTER Software Installation Utility

PCSI を参照

PrintServer ソフトウェア

必要条件 1-4

R

Raw TCP/IP 1-3

T

TCP/IP

必要条件 1-3

プリンタ接続 1-3

U

USB 1-2

イ

インストール手順

実行例 A-1

インストール・プロシージャ

質問 2-2

キ

キュー

AppleTalk ネットワーク上のプリンタ 1-4

TCP/IP ネットワーク上のプリンタ 1-3

ス

スプール・ディレクトリ論理名 2-7

セ

前提条件

ディスク容量 2-4

テ

ディスク容量 2-4

ディスク容量の必要条件 1-1

ネ

ネットワーク・プリンティング

AppleTalk の使用 1-4

TCP/IP の使用 1-3

ヒ

必要条件

AppleTalk ネットワーク上のプリンタ	1-4
C ランタイム・ライブラリ	1-4
PCSI	1-2
TCP/IP ネットワーク上のプリンタ	1-3
USB	1-2
オペレーティング・システムのバージョン	1-1
他のソフトウェア	1-1
ディスク容量	1-1

フ

プリンタ

AppleTalk ネットワーク上の	1-4
TCP/IP ネットワーク上の	1-3

ヨ

要件

キュー・マネージャ	2-4
-----------	-----

レ

レイアアップ論理名	2-7
-----------	-----

日本語 HP DECprint Supervisor (DCPS) for OpenVMS
インストール・ガイド

2012 年 6 月 発行

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒136-8711 東京都江東区大島 2 丁目 2 番 1 号

電話 (03)5628-1101 (大代表)
